

■交付申請書 様式 A-52 [作成上の注意]

交付の申請を行おうとする場合に科研費電子申請システム（以下「電子申請システム」という。）にアクセスして、「交付申請書（様式A-52）」および「振込銀行口座届（様式A-55）※個人管理のみ」を作成し、提出すること。電子申請システムにおける入力に当たっては、文字化けの発生や別の文字として認識される場合があるため、JIS 第1水準及び第2水準以外の文字コードや特殊フォントは使用しないこと。

代表者は、交付の内定を受けた事業課題について、先に提出した計画調書の記載内容に基づき、交付予定額の範囲内で交付申請書を作成すること。

交付申請書に含まれる個人情報は、科学研究費助成事業の交付等業務のために利用（データの電算処理及び管理を外部の民間業者に委託して行わせるための個人情報の提供を含む。）する。

採択された課題に関する情報（補助事業名・団体名・職名・代表者氏名・交付予定額等）については、「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」（平成13年法律第140号）第5条第1号イに定める「公にすることが予定されている情報」であるものとする。これらの情報については、日本学術振興会ホームページ等により公開をする。

【注意事項】

- 電子申請システムの入力に当たっては、「電子申請システム研究者向け操作手引（科学研究費補助金）（研究成果公開促進費）」<https://www-shinsei.jps.go.jp/kaken/seika/index.html>を参照すること。

【研究活動等の公正性の確保及び適正な研究費の使用について確認・誓約すべき事項】画面イメージ

記載の内容を十分に確認・誓約した上で、全ての項目のチェックボックスにチェックを入れること。

JSPS 科研費電子申請システム

詳細管理 > 研究活動等の公正性の確保及び適正な研究費の使用について確認・誓約すべき事項

研究活動等の公正性の確保及び適正な研究費の使用について確認・誓約すべき事項

科研費で研究活動等を行うに当たっては、科研費が国民の貴重な税金で賄われていることを十分認識し、科研費を適正かつ効率的に使用するとともに、研究において不正行為を行わないことが求められています。ついては、下記の内容を十分に確認し、遵守する場合には各事項にチェックを入れてください。全ての事項にチェックを入れなければ、補助金の交付はしません。また、代表者の責務として、本内容を分担者等にも必ず周知し、研究活動等の公正性の確保や適正な研究費の使用について理解してもらうよう努めてください。

(研究活動等の公正性の確保)

- 科学研究における不正行為は、科学を冒瀆し、人々の科学への信頼を揺るがし、科学の発展を妨げるものであって、本来あってはならないものである。また、未来への先行投資として、国費による研究費支援が増加する中、国費の効果的活用の意味でも研究の公正性の確保がより一層求められる。
- 研究活動とは、先人達が行った研究の諸業績を踏まえた上で、観察や実験等による事実、データを素材としつつ、自分自身の省察・発想・アイデア等に基づく新たな知見を創造し、知の体系を構築していく行為である。研究成果の発表とは、研究活動によって得られた成果を、客観的で検証可能なデータ・資料を提示しつつ、研究者コミュニティに向かって公開し、その内容について吟味・批判を受けることである。不正行為とは、研究者倫理に背馳し、研究活動や研究成果の発表の本質ないし本来の趣旨を歪め、研究者コミュニティの正常な科学的コミュニケーションを妨げる行為に他ならない。
- 不正行為に対する対応は、その防止とあわせ、まずは研究者自らの規律、ならびに研究者コミュニティ、大学・研究機関の自律に基づく自浄作用としてなされなければならない。あらゆるレベルにおいて重要な課題として認識されなければならない。その際、若い研究者を育てる指導者自身が、自律・自己規律ということを理解し、若手研究者や学生にきちんと教育していくことが重要である。
- 不正行為は、科学のものに対する背信行為であり、研究費の多寡や出所の如何を問わず絶対に許されない。これらのことを個々の研究者はもとより、研究者コミュニティや大学・研究機関、研究費の配分機関は理解して、不正行為に対して厳しい姿勢で臨まなければならない。また、不正行為の問題は、知の生産活動である研究活動における「知の品質管理」の問題として捉えることができる。公表した研究成果に不正行為が関わっていたことに気づいたら、直ちに研究者コミュニティに公表し、取り下げる必要がある。
- 「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」(平成26年8月26日：文部科学大臣決定)では以下の行為を特定不正行為としている。
 - 捏造：存在しないデータ、研究結果等を作成すること。
 - 改ざん：研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること。
 - 盗用：他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用すること。

5 科学者は、自らが携わる研究の意義と役割を公開して積極的に説明し、その研究が人間、社会、環境に及ぼす影響や起こし得る変化を評価し、その結果を中立性・客観性をもって公表すると共に、社会との建設的な対話を築くように努める。

(科学研究の利用の再義性)

6 科学者は、自らの研究の成果が、科学者自身の意図に反して、破壊的行為に悪用される可能性もあることを認識し、研究の実施、成果の公表にあたっては、社会に許容される適切な手段と方法を選択する。

※ URL <http://www.scisao.jp/ia/sci/kihan/>

【日本学術振興会「科学の健全な発展のために 誠実な科学者の心得」】
(日本語版(テキスト版)) (日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会)
※ URL <https://www.jps.go.jp/Hkoussi/dgata/rinri.pdf>

(補助条件の遵守について)

- 科研費により研究活動等を遂行するに当たり、補助条件を理解しこれを遵守します。また、学術研究に対する国民の負託を受けていること、及び科研費が国民の貴重な税金で賄われていることを十分認識し、科研費を適正かつ効率的に使用するとともに、研究活動等において不正行為を行わないことを約束します。

次へ進む キャンセル ログアウト

学術図書【交付申請書・交付請求書作成(所属研究機関情報及び代表者情報等の確認)画面イメージ】

JSPS 科研費電子申請システム

経路管理 > 交付申請書・交付請求書作成 (所属研究機関情報及び代表者情報等の確認) > 所属研究機関情報及び代表者情報等の確認

所属研究機関情報及び代表者情報等の確認

<注意事項>

- 登録されている研究代表者の氏名、職、氏名及び研究機関名に誤りがないかを確認してください。
- 表示された研究代表者の情報が異なる場合は所属機関に依頼し、e-Radで情報を修正してください。その修正が反映されます。
- 誤りがなければ「一時保存」ボタンをクリックしてください。
- 入力中に一定時間、ボタン操作をせずにおくと、セッションタイムアウトにより、入力した情報が保存されない場合があります。印刷し一時保存ボタンをクリックして情報を保存してください。もし、セッションタイムアウトによりセッションが切れた場合は、「電子申請書作成中」ページの「戻る」ボタンをクリックし、お名前下さい。
- 複数ウィンドウ（複数タブ）を開いて利用すると、システムが正常に動作しない場合があります。複数ウィンドウでの利用は控えてください。

20XX年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究成果公開促進費）交付申請書

補助金管理区分	<input checked="" type="radio"/> 機関管理 <input type="radio"/> 個人管理
---------	---

所属研究機関情報

所属研究機関番号	12345
所在地	郵便番号123-4567 住所東京都〇〇区〇〇2-5-1
名称	〇〇大学
所属研究機関の長の職名・氏名	(職名) 学長 (氏名) 交付 一郎
研究者番号	12345678

代表者情報

代表者氏名	(フリガナ) コウフ タロウ
部署	(漢字) 交付 太郎
代表者職名	〇〇職

個人情報

代表者の自宅住所・連絡先	[郵便番号] * <input type="text"/> → 住所検索 [住所] * <input type="text"/> [電話番号] * <input type="text"/> [携帯番号] * <input type="text"/> [メールアドレス] * <input type="text"/>
緊急連絡先 (代表者以外の連絡先)	[氏(姓)名] * <input type="text"/> (名) * <input type="text"/> [電話番号] * <input type="text"/> [メールアドレス] * <input type="text"/>

事務連絡先等

経費管理担当者	[氏(姓)名] (姓) [姓] [名] [名] [姓] [名] [姓] [名] [所属機関名] [研究費] [部署名] [職名] * <input type="text"/> [固定電話] [電話番号] (内線番号) [電話番号] [E-mail] [abc-def@ghi.com]
郵便物等送付先	[郵便番号] 〒 <input type="text"/> → 住所検索 [住所] * <input type="text"/> [宛名] * <input type="text"/> [電話番号] * <input type="text"/>

* 代表者自宅住所と送付先が異なる場合のみ入力してください。

(1)所属研究機関情報

・応募時の情報が自動表示されるので、代表者が応募時の所属研究機関から転出した場合(個人管理となった場合を含む)は、**応募時の所属研究機関担当者が**、
https://www.jsp.go.jp/j-grantsinaid/13_seika/koufu_dl.html
 から、**様式A-8-2**をダウンロードし、必要事項を記入の上、**電子申請システムの「その他の様式管理(所属研究機関担当者用)」よりアップロードを行うこと**。日本学術振興会において受領後、手続きを行うので、代表者は最新の情報に反映されていることを確認した上で、電子申請システム上で交付申請書の作成を行うこと。

・応募時に研究機関に所属しておらず、交付申請時に**新たに研究機関に所属することとなった代表者は**、

https://www.jsp.go.jp/j-grantsinaid/13_seika/koufu_dl.html
 から、**様式A-58**をダウンロードし、必要事項を記入の上、電子メール等(電子申請システム外)により転入先の研究機関に提出すること。**転入先の研究機関担当者は**、記載事項を確認の上、**電子申請システムの「その他の様式管理(所属研究機関担当者用)」よりアップロードを行うこと**。日本学術振興会において受領後、手続きを行うので、最新の情報に反映されていることを確認し、代表者が電子申請システム上で交付申請書の作成を行うこと。

(2)代表者又は応募者情報

・応募時の情報が自動表示されるので、情報に誤りがある場合は以下のとおり行うこと。
 (機関管理の場合)所属機関に依頼し、e-Radで情報を修正してください。転出・転入となった代表者以外で、e-Radの修正内容が反映されない場合には、日本学術振興会研究成果公開促進費係までご連絡ください。
 (個人管理の場合)部局は入力不要です。代表者職名は、変更がある場合は電子申請システムへログイン後の画面下部「連絡先等情報の変更はこちら」を選択のうえ、「連絡先等情報変更」画面から変更を行うこと。

(3)個人情報

・研究機関に所属しない代表者(個人管理)については、応募時の情報が自動表示されるので、変更がある場合は電子申請システムへログイン後の画面下部「連絡先等情報の変更はこちら」を選択のうえ、「連絡先等情報変更」画面から変更を行うこと。

(4)事務連絡先等

・**経費管理担当者**
 (機関管理)必要に応じて所属機関の担当者が入力した情報が自動表示されるので、代表者による入力には不要です。
 ※応募時から所属機関が変更となった場合には、交付申請時に所属している機関の経費管理担当者を記入してください。
 (個人管理)個人管理の場合は、入力不要です。
 ※交付申請時に個人管理となった場合には空欄としてください。
 ・郵便物等送付先は、研究機関に所属しない代表者であって、応募者自宅住所と送付先が異なる場合に入力すること。

課題番号	22H12345
研究成果公開促進費 目名	学術図書
補助事業名	* ママの〇〇〇〇〇に関する研究

(5)補助事業名

・応募時の情報が自動表示されるので、変更がある場合には修正すること。
 ・副題を付けて刊行する場合、副題を併せて記入すること。

【補助事業の目的】

補助事業の目的	最大400文字（800バイト）、改行は5回まで入力可。ただし、一時保存の際は800文字（1600バイト）まで入力できます。 <small>（全角文字は2バイト、半角文字は1バイトと換算）</small> * ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 入力文字数： 0文字
---------	---

(6)補助事業の目的

・計画調書の記載内容に基づき、刊行（成果を公開）する目的について具体的かつ明確に入力すること。（最大400字、改行は5回まで入力可）

別紙(学術図書)の入力

JSPS 科研費電子申請システム

別紙(学術図書)の入力

<注意事項>

- ・ *のついた項目は必須の入力項目です。
- ・ 入力した内容に誤りがないかを確認して、「一時保存をして次へ進む」ボタンをクリックしてください。
- ・ 「一時保存」ボタンをクリックすると、これまで入力した内容は保存されます。

【刊行の内容】

刊行の内容	最大400文字（800バイト）、改行は5回まで入力可。ただし、一時保存の際は800文字（1600バイト）まで入力できます。 <small>（全角文字は2バイト、半角文字は1バイトと換算）</small> * ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 入力文字数： 28文字
-------	--

【著者・著作権者の全員の氏名】

著者・著作権者の合計人数	*全員で <input type="text" value="0"/> 人
著者・著作権者の全員の氏名	著者と著作権者が異なる場合は、著者と著作権者の区別をつけて記入してください。 姓 1 名 1、姓 2 名 2、姓 3 名 3、姓 4 名 4、姓 5 名 5、姓 6 名 6、姓 7 名 7、姓 8 名 8

【編者全員の氏名】

編者の合計人数	*全員で <input type="text" value="0"/> 人
編者全員の氏名	姓 1 名 1、姓 2 名 2、姓 3 名 3、姓 4 名 4、姓 5 名 5、姓 6 名 6、姓 7 名 7、姓 8 名 8

【実施内容】

実施内容	* <input 1"="" type="text" value="翻訳・校閲の上、2軍目に刊行する場合は、今年度の実施内容「翻訳・校閲のみ」を選択してください。</td> </tr> </table> <p>【刊行経費等】</p> <table border="/> <tr> <td colspan="6">刊行経費等</td> </tr> <tr> <td>ページ数</td> <td>* <input type="text" value="200"/> ページ</td> <td>出版社名</td> <td colspan="3">* <input type="text" value=""/></td> </tr> <tr> <td colspan="6"><紙媒体を含む場合></td> </tr> <tr> <td>発行部数 (市販用)</td> <td>* <input type="text" value="200"/> 部</td> <td>(その他)</td> <td>* <input type="text" value="200"/> 部</td> <td>計(D)</td> <td>200部</td> </tr> <tr> <td>直接出版費 (税込) (A)</td> <td>* <input type="text" value="2980.010"/> 円</td> <td>定価(税込) (D)</td> <td>* <input type="text" value="7.480"/> 円</td> <td>卸売価格 (税込)</td> <td>* <input type="text" value="5.666"/> 円</td> </tr> <tr> <td>1部当たりの原価 (A)/(D)</td> <td>4,966円</td> <td>刊行補助総額 (E)</td> <td colspan="3">2,037,530円 <small>（原価出費率(A)×定価(D)×部数(C)×発行部数(D)×0.8）</small></td> </tr> <tr> <td colspan="6"><電子媒体のみの場合></td> </tr> <tr> <td>直接出版費 (税込) (A)</td> <td>* <input type="text" value="4.966"/> 円</td> <td>刊行補助総額 (E)</td> <td colspan="3">2,037,530円 <small>（原価出費率(A)×0.8）</small></td> </tr> <tr> <td>出版社等への原稿渡し日</td> <td>* (西暦) <input type="text" value=""/> 年 <input type="text" value="12"/> 月 <input type="text" value="31"/> 日</td> <td>発行予定年月日</td> <td colspan="3">* (西暦) <input type="text" value=""/> 年 <input type="text" value="12"/> 月 <input type="text" value="31"/> 日</td> </tr>	刊行経費等						ページ数	* <input type="text" value="200"/> ページ	出版社名	* <input type="text" value=""/>			<紙媒体を含む場合>						発行部数 (市販用)	* <input type="text" value="200"/> 部	(その他)	* <input type="text" value="200"/> 部	計(D)	200部	直接出版費 (税込) (A)	* <input type="text" value="2980.010"/> 円	定価(税込) (D)	* <input type="text" value="7.480"/> 円	卸売価格 (税込)	* <input type="text" value="5.666"/> 円	1部当たりの原価 (A)/(D)	4,966円	刊行補助総額 (E)	2,037,530円 <small>（原価出費率(A)×定価(D)×部数(C)×発行部数(D)×0.8）</small>			<電子媒体のみの場合>						直接出版費 (税込) (A)	* <input type="text" value="4.966"/> 円	刊行補助総額 (E)	2,037,530円 <small>（原価出費率(A)×0.8）</small>			出版社等への原稿渡し日	* (西暦) <input type="text" value=""/> 年 <input type="text" value="12"/> 月 <input type="text" value="31"/> 日	発行予定年月日	* (西暦) <input type="text" value=""/> 年 <input type="text" value="12"/> 月 <input type="text" value="31"/> 日		
刊行経費等																																																							
ページ数	* <input type="text" value="200"/> ページ	出版社名	* <input type="text" value=""/>																																																				
<紙媒体を含む場合>																																																							
発行部数 (市販用)	* <input type="text" value="200"/> 部	(その他)	* <input type="text" value="200"/> 部	計(D)	200部																																																		
直接出版費 (税込) (A)	* <input type="text" value="2980.010"/> 円	定価(税込) (D)	* <input type="text" value="7.480"/> 円	卸売価格 (税込)	* <input type="text" value="5.666"/> 円																																																		
1部当たりの原価 (A)/(D)	4,966円	刊行補助総額 (E)	2,037,530円 <small>（原価出費率(A)×定価(D)×部数(C)×発行部数(D)×0.8）</small>																																																				
<電子媒体のみの場合>																																																							
直接出版費 (税込) (A)	* <input type="text" value="4.966"/> 円	刊行補助総額 (E)	2,037,530円 <small>（原価出費率(A)×0.8）</small>																																																				
出版社等への原稿渡し日	* (西暦) <input type="text" value=""/> 年 <input type="text" value="12"/> 月 <input type="text" value="31"/> 日	発行予定年月日	* (西暦) <input type="text" value=""/> 年 <input type="text" value="12"/> 月 <input type="text" value="31"/> 日																																																				

※前年度から継続する成果公開については、応募時の情報ではなく、前年度の交付申請書に入力した内容が自動表示されるので、変更がある場合は適宜変更後の内容を入力すること。

(1)刊行の内容

・計画調書の記載内容に基づき、刊行物の内容について具体的かつ明確に入力すること。（最大400字、改行は5回まで入力可）

(2)著者・著作権者の全員の氏名

・応募時の情報が自動表示されるので、変更がある場合は、全員の氏名を入力すること。

(3)編者全員の氏名

・応募時の情報が自動表示されるので、変更がある場合は、全員の氏名を入力すること。

(4)実施内容

・応募時の情報が自動表示されるので、確認すること。

(5)刊行経費等

・応募時の情報が自動表示される。交付申請時に新たに徴収した見積書に基づき、修正を行うこと。
・見積書は下記よりダウンロードし、選定した業者に作成を依頼すること。

https://www.jps.go.jp/j-grantsinaid/13_seika/koufu_dl.html

様式A-53-2紙媒体のみで刊行または紙媒体と電子媒体双方で刊行する場合。
様式A-53-3電子媒体のみで刊行する場合。

【翻訳・校閲経費等】

再計算

翻訳・校閲経費等					
翻訳対象和文図書・論文名	*				
和文400文字原稿用紙換算枚数	* 枚	翻訳後の原稿予定枚数(2007-11話)	* 枚	校閲原稿予定枚数(2007-11話)	* 枚
翻訳経費	* 円	校閲経費	* 円	計(e)	
翻訳・校閲及び刊行補助限度額 (B)+(E)					
翻訳・校閲期間開始日	* (西暦) 年 月 日	翻訳・校閲期間完了日	* (西暦) 年 月 日		

【翻訳者・校閲者】

翻訳者	氏名 1、氏名 2、氏名 3、氏名 4、氏名 5、氏名 6、氏名 7、氏名 8
校閲者	氏名 1、氏名 2、氏名 3、氏名 4、氏名 5、氏名 6、氏名 7、氏名 8

【変更理由】

※刊行物の名称又は【著者・著作権者の全員の氏名】～【翻訳・校閲経費等】の内容において、応募時から変更があった場合には以下の欄に理由を記入

変更理由	最大400文字(800バイト)、改行は5回まで入力可。ただし、一時保存の際は3800文字(1800バイト)まで入力できます。(全角文字は1バイト、半角文字は0.5バイトと換算) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 入力文字数: 28文字
------	---

A-53-2,A-53-3,A-53-4ファイル登録

添付ファイル項目	ファイル登録/登録済みファイルダウンロード
①A-53-2見積書<学術図書刊行用>ファイル ※(紙媒体のみで刊行する場合)	変換... 登録... 削除
②A-53-3見積書<学術図書刊行用>ファイル ※(電子媒体のみで刊行する場合)	登録
③A-53-4見積書<学術図書雑誌・雑誌用>ファイル	登録

- ・ファイルについて、当該年度の種別であるかどうか必ず確認してください。
- ・ファイルを修正する場合は、修正済みのファイルを選択しなおしてください。
- ・ファイルはPDFファイルのみ選択することができます。
- ・ファイル種別の各自設定を変更すると、エラーとなる場合がありますので、各自設定は変更しないでください。

(6)翻訳・校閲経費等

- ・応募時の情報が自動表示されるので、交付申請時に新たに徴収した見積書に基づき、修正を行うこと。
- ・見積書は下記よりダウンロードし、選定した業者に作成を依頼すること。

https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/13_seika/koufu_dl.html

様式A-53-4

(7)翻訳者・校閲者

- ・応募時の情報が自動表示されるので、交付申請時に新たに徴収した見積書に基づき、修正を行うこと。
- ・翻訳・校閲業者との契約のため、翻訳者・校閲者の氏名が特定できない場合は、業者名を記入すること。

(8)変更理由

- ・上記(1)～(7)までの入力内容について、応募時から変更があった場合にその理由を記入すること。(最大400字、改行は5回まで入力可)

(9)A-53-2、A-53-3、A-53-4ファイル登録

- ・交付申請時に業者から徴収した見積書をPDFに変換し、登録を行うこと。
- ・見積書については複数社から徴収の上、選定した1社のみを登録すること。
- ・翻訳及び校閲を行った上で刊行する場合は、翻訳に係る見積書と校閲に係る見積書各1部を1つのファイルに結合した上で登録すること。